

(3) 雑草問題の研究——除草剤の適切な使用法、施用量の節約等の研究は引きつづき必要である。さらに、雑草生態の研究、作付体系その他の有効な手段を取入れた総合防除の研究が極めて重要な課題となろう。
(抄録者：日本植物調節剤研究協会 天辰克己)

YH-90 水和剤(山本農薬申請)の判定変更について

農林省野菜試験場 西 貞夫

本剤のタマネギ用除草剤としての効果については、‘昭和51年度秋冬作野菜・花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会’において、‘秋季および春季反復全面土壌処理’が、試験年次不足・継続となった。その後申請者より、本剤は、他剤との体系処理を計画中的なので、秋または春の単独処理について効果の判定を行なってほしいとの申し立てが行われた。

本剤は昭和50年度秋冬作試験として、秋または春の単独全面土壌処理試験が実施されているが、この様なケースは始めてなので、より確実を期すため、重ねて申請者より関係試験データの提出を求め、中央委員の間で慎重に検討を行い、春処理については、2か年の単独処理試験が行われたとは認めがたいが、秋処理については試験場所数および反復数について、規定条件を満たしているとの結論に達した。その結果、提出データに基づき再度判定を協議して、下記のような判定を与えることとして意見の一致をみ、昭和52年10月3日日本植物調節剤研究協会に通知した。

実・継：実用化〔秋まき移植栽培〕—活着後40～60g/a全面土壌処理。

継続 — 薬量と薬害、春処理および反復処理について。

除草剤使用面積一覽表

〔水田用除草剤〕

(昭和52年10月25日現在)

区 分	除 草 剤 名		昭 和 48年度	昭 和 49年度	昭 和 50年度	昭 和 51年度	昭 和 52年度
	一 般 名	商 品 名					
(1) 土壌混和 処 理 剤	オキサジアゾン	ロンスター乳剤	千ha 162.0	千ha 191.0	千ha 317.7	千ha 562.6	千ha 477.4
(2) 土壌処理剤	PCP	PCP水溶剤	5.6	22.5	0.0	—	—
	PCP	PCP粒剤	47.0	17.9	0.0	—	—
	PCP・MCP	パムコン、ペアサイド粒剤	94.9	56.8	56.3	16.6	0.0